

# 人生変えた みの〜れとの出逢い

羽刈区在住。みの〜れの作品を観て、「演劇に対するイメージが一変した」。「RENDAを観て自分もやりたい!」と思ってくれる人が一人でもいてくれたら嬉しい」と語る新井良和さん。



住民ミュージカル「RENDA(れんだ)」出演者

あら い よし かず  
**新井良和**さん

みの〜れと共に生活するスタイル  
**Minole Life**  
のすすめ

No.14

今秋に公演する、みの〜れオリジナル住民ミュージカル「RENDA」に小学六年の愛娘と共に参加。自身はミュージカル初挑戦。中学からロックバンドに興味を持ち、以後様々なバンドで活動。二〇代前半には仲間を求めて都内で活動していたことも。現在は鹿嶋市を拠点に活動する「orange#9 (オレンジ ナンバーナイン ※参照)」のヴォーカリストとして活躍中。毎週鹿嶋市のスタジオまで通いながら、みの〜れでミュージカル稽古にも打ち込む熱血漢、新井良和さんに取材する。

## 父娘で参加 至福のとき

娘が所属する「みの〜れ住民劇団・演劇ファミリーMyu」の保護者の一人として協力しているうちに、「Myu音楽活動のチンドンバンドでギターを弾いてほしい」と誘われ、昨春のMyuオリジナル音楽劇「わが家の天ぷら」で楽器演奏メンバーとして娘と同じ舞台上に立った。舞台づくりを通して娘との会話も必然的に増え、Myuの活動に少しずつ深く関わるようになった。

そして今回の「RENDA」では、役者としての参加を決意。先日の子供発表で、実年齢より一回り若い一〇代の青年の役に決定。週末の全体稽古に加え、平日の夜には劇中で披露する太鼓の稽古にも打ち込む。また、自宅では娘とセ

リフやダンスを稽古することも。友達のような親子だが、「役者として先輩の娘から教わることも多い」とか。みの〜れは「RENDA」を通して父娘の絆を深める場所であり、また、自分がイキイキと輝く大切な居場所でもあるようだ。

来年2月には、みの〜れとMyuが共同制作するエンターテイメント舞台『ここで逢えたら:2』への出演が決まっている。

この作品では、役者と演奏家(ベース)という二役を務める。「自分が培ってきた経験が地域の役に立っている、という実感をもちたらしめてくれた、みの〜れとMyuのみなさんに感謝しています」と語る新井さん。「みの〜れで出逢った人たちがから大きな影響を受けて、人間的にも成長させてもらっているのを深く感じています。自分、かなり(人間が)

丸くなったんですよ。一番驚いているのはウチの嫁じゃないですかね」と笑う。以前は地元が嫌いで、外へ外へと活動していた。地元への愛着を生み、人生観を変えてくれたのはみの〜れだという。娘と一緒に舞台づくりに参加できる至福のとき。若くして父親になった新井さんだが、「Myuの子どもたちも自分の子どものようにかわいいですよ」と、しっかりと子どもたちの視線に立って、子育てに楽しく参加していると感じた。

(藤田佐知子)



新井さん出演のミュージカル「RENDA(れんだ)」